

※ 個人情報を考慮し、住所等の記載内容を一部修正しています。

新会社誕生記念事業

2004年10月22日

障害のある人たちの舞台芸術を支援する

## 「エイブルアート・オンステージ」

### 2004年度パートナー決定

明治安田生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）は2004年1月の新会社誕生を記念し、新たな社会貢献事業としてNPO「エイブル・アート・ジャパン」（代表 嶋本 昭三）とともに、**障害のある人たちの舞台芸術を支援するため「エイブルアート・オンステージ」**（詳細は別紙）をスタートさせました。

先に、当社および「エイブル・アート・ジャパン」とともに本プログラムに取り組んでいただく2004年度パートナー（各地の主催者）を公募していましたが、**今般応募いただいた全国36のグループ・個人の中から演劇・音楽等の専門家を含む実行委員会で選考し、8つのグループ・個人をパートナーに決定**しました。

今後、パートナーが各地で開催する舞台芸術に関する「ワークショップ」や「レッスン」（2004年10月～2005年2月）および地元での「舞台公演」（2005年3月～4月）を資金面、運営面にて支援していきます。

また、2005年8月には各地での活動成果を発表するとともに、海外の先進的な劇団やダンスカンパニーを招聘する「東京公演」を開催します。

今回決定した2004年度パートナーは次のとおりです。

団体（個人）名	代表者	主な活動地域	表現ジャンル
Ten Seeds～10つぶのたね	黒田 百合	石川県金沢市	演劇
福岡舞台計画	佐々 恭子	福岡県福岡市	実験的 <sup>ハ</sup> パフォーマンス
CONVEY	森田 かずよ	大阪府	演劇
清中 愛子	清中 愛子	神奈川県横浜市	身体、言葉のドキュメント
マルガサリ	中川 真(シ)	大阪府	音楽・舞踏
Dance & People	五島(ゴシマ)智子	兵庫県、大阪府、京都府	ダンス
Crystal Troupe	岡田 牧子	東京都	音・声・身体表現
TOMO★PROJECT	松尾 交子(トモ)	静岡県浜松市	演劇

明治安田生命社会貢献プログラム

## 「エイブルアート・オンステージ」の内容

### 1. 事業名称

明治安田生命社会貢献プログラム「エイブルアート・オンステージ」

### 2. 主催

明治安田生命保険相互会社

エイブル・アート・ジャパン

### 3. 実行委員（敬称略）

永井多恵子（世田谷パブリックシアター館長）

木佐貫邦子（舞踏家、K・身体表現教室主宰）

平田オリザ（劇作家・演出家、桜美林大学助教授）

野村 誠（作曲家）

吉野さつき（ワークショップ・コーディネーター、アートマネージャー）

山本 芳夫（明治安田生命保険相互会社専務取締役）

播磨 靖夫（エイブル・アート・ジャパン常務理事）

＜ご参考：実行委員の役割＞

- ・本事業のプログラムに対するアドバイス
- ・本事業の社会的理解や関心向上に向けた活動支援
- ・その他本事業推進に関する総合的な指導・助言

※この他、本事業推進にあたってテクニカルな面を含めた専門的なアドバイスをするアドバイザリースタッフチームを構成します。

### 4. 事業目的

- （1）障害のある人たちに、演劇、ダンス、音楽などの舞台芸術の分野で、自らを表現する機会を提供するとともに、その普及を図ります。
- （2）舞台芸術に関わる人が、障害のある人との協働を通して、障害のある人の可能性や舞台芸術の可能性を発見します。
- （3）障害のある人の舞台表現に関わる指導者、スタッフの育成を図ります。

### 5. 事業の概略

- （1）毎年10都市程度（延50都市目標）で、障害のある人とともに作るワークショップを実施します。このワークショップにおいては、演劇、ダンス、音楽などの基礎を学び、舞台人としてのレベルアップを図ります。
- （2）各都市では、その活動の成果としての舞台公演（地元公演）を開催します。

- (3) 各都市において優れた作品を発表したグループを東京公演に招聘します。  
東京公演に際しては、毎年1グループ海外の劇団やダンスカンパニーを招聘します。
- (4) 特に優れた活動と認められたグループには、継続活動のための公演経費の支援を行いません。

## 6. 支援の内容

各地のパートナー（主催者）への支援は2段階にて実施します。

【第一ステップ】各地におけるグループの立ち上げから地元公演までの経費を提供します。

ただし、総予算の80%以下で150万円が上限です。

【第二ステップ】東京公演への参加費（15人分までの交通費、宿泊費、食費の提供）、および準備金20万円を提供します。

特に優れた作品に対しては、継続活動のためのその後の公演経費を一部負担します。

## 7. 実施スケジュール【2004年度公募の場合】

2004年7～8月：	各地のパートナー（主催者）の公募
<b>2004年 9月：</b>	<b>各地のパートナー（主催者）の決定（書類選考）</b>
2004年 10月：	各地におけるオーディション（参加者募集）の実施
2004年 11月	各地におけるワークショップおよび
～2005年2月：	レッスンの開催（複数回）
2005年 3月：	各地における「舞台公演」（地元公演）の開催
2005年 5月：	公開プレゼンテーション
2005年 8月：	東京公演の開催
2005年 8月～：	継続活動の展開

### (注)「エイブル・アート・ジャパン」について

エイブル・アート・ジャパンは、障害のある人たちの芸術文化の総合的な環境整備を図ると同時に、障害のある人たちのアートを通して、「芸術の社会化・社会の芸術化」をめざすNPO（民間非営利組織）。

1994年に日本障害者芸術文化協会として発足、翌1995年には「エイブル・アート・ムーブメント（可能性の芸術運動）」を提唱。展覧会、シンポジウム、ワークショップの実施、調査研究事業、出版活動、海外交流事業などを行なっている。

また、「人間が幸福になる」をキーワードに、アートによるソーシャル・インクルージョン（社会的包括）活動を推進している。

会 長＝嶋本 昭三（現代美術家、宝塚造形芸術大学教授）

事務局＝東京都中野区東中野 4-4-1 ポレポレ坐ビル3階 電話：03-3364-2140